

ボルグワーナー、長城汽車との デュアルインバーター分野での協業を拡大

- 長城汽車から新たに2件のデュアルインバータープロジェクトを受注
- デュアルインバーターは、高度に一体化された設計が特徴
- 柔軟なアーキテクチャにより、多様なハイブリッド用途に対応可能

革新的で持続可能なモビリティソリューションを提供するグローバル製品リーダーのボルグワーナー (NYSE: BWA/本社: アメリカ合衆国ミシガン州アーバンヒルズ、社長兼最高経営責任者: ジョセフ・ファドール/ Joseph Fadool) は、長城汽車(グレートウォールモーター)との電動パワートレイン分野における協業をさらに強化します。これまでに発表された2件のデュアルインバータープロジェクトに加え、今回新たに2件を受注し、2026年の量産開始を予定しています。

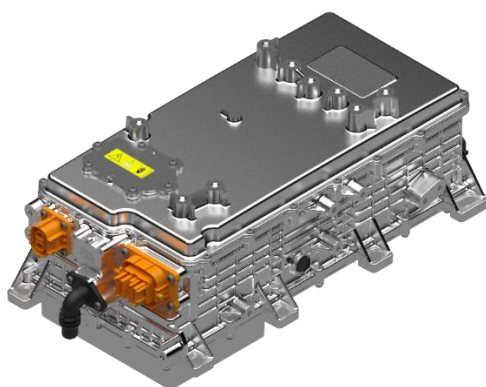
ボルグワーナーのデュアルインバーターは、高度に一体化された設計を採用しており、1つのコントローラーで2つのモーターを同期制御・駆動することが可能です。これにより、パッケージングの自由度と組み付けの容易さが大幅に向上します。この独自のパッケージ技術を活用することで、コンパクトな構造に異なる出力モジュールを組み込むことが可能となり、重量およびコストの両面で削減を実現しています。

また、このデュアルインバーター技術の先進性は、両面冷却構造を採用したパワーモジュール設計にも表れています。このモジュールには最新世代のヴァイパー(Viper)パワースイッチが採用されており、片面冷却方式と比較して最大50%の熱抵抗低減を実現しています。これにより、電力密度が大幅に向上しています。さらに、この技術では同一サイズのモジュール内に異なる種類の半導体ダイを搭載可能なため、厳格化が進む中国のCLTC(China Light-duty Vehicle Test Cycle)効率基準にも対応できます。また、バッテリーのアダプティブ電圧制御により、モーターの定出力範囲および高効率運転領域を大幅に拡大し、システム全体の効率向上を実現しています。

さらに、ボルグワーナーのデュアルインバーターはプラットフォームベースの設計を採用しており、幅広いハイブリッド車に対応しています。今回新たに受注した2件のプロジェクトのうち、ハイブリッド車

(HEV)向けデュアルインバーターには DC/DC コンバーターが一体化されており、昇圧モジュールの追加も選択可能です。一方、プラグインハイブリッド車(PHEV)向けデュアルインバーターでは、昇圧モジュールと DC/DC コンバーターを省略しています。このような柔軟かつモジュール化された設計アプローチにより、顧客は製品の改良サイクルを短縮できるだけでなく、開発および設計コストを大幅に削減することが可能となります。

ボルグワーナーの副社長兼パワードライブシステム事業本部長のステファン・デメール博士は、「ボルグワーナーの電動化およびデュアルインバーター製品に関する技術的専門性が、長城汽車から継続的な信頼を得ています。今回の協業拡大は、当社の製品と技術が高く評価されている証であるとともに、お客様の新エネルギー戦略を支援するという当社の強いコミットメントを示すものです。長城汽車の電動車両ラインアップ拡充を加速させるため、当社は引き続き尽力してまいります」と述べています。



ボルグワーナー、長城汽車とのデュアルインバーター分野での協業を拡大

ボルグワーナーについて

ボルグワーナーは、130年以上にわたり、モビリティのイノベーションを成功に導く、変革的なグローバル製品リーダーであり続けています。すべての人にとってよりクリーンで健康的、かつ安全な未来を築くために、世界の e モビリティへの移行を加速させています。

URL: <https://www.borgwarner.com/home>

本リリースには、経営陣の現在の見通し、期待事項、試算、推定に基づく1995年米国私募証券訴訟改革法(Private Securities Litigation Reform Act)で想定された、将来予測に関する記述が含まれている場合があります。「見込む」、「考える」、「継続する」、「可能性がある」、「目的とした」、「影響」、「試算する」、「評価する」、「期待する」、「予測する」、「目標」、「指針」、「取り組み」、「意図する」、「場合がある」、「見通し」、「計画する」、「潜在的」、「予見する」、「推定する」、「追求する」、「目指す」、「すべきである」、「目標とする」、「の場合」、「でしょう」、「かもしれない」、およびこれらの語句の変化形や類似のものは、かかる将来予測に関する記述であることを意図しています。さらに、本リリースに含まれる、または参照する形で盛り込まれる、歴史的事実に関する記述を除く、当社の財務状況、事業戦略、および当該戦略を実施するための方策(事業の変更、競争力、目標、事業およびオペレーションの拡大・成長、計画、将来の成功への言及、その他の事項を含む)に関する、当社が将来発生すると期待または見込むすべての記述は、将来予測に関する記述です。最近提出されたフォーム 10-K(「Form 10-K」)年次報告書の第7項「重要な会計方針および試算(Critical Accounting Policies and Estimates)」に記載されているような会計上の試算は、性質上、将来予測に基づくものです。すべての将来予測に関する記述は、当社の経験、当社の歴史的動向に関する解釈、現在の状況、予想される将来の展開に関する認識、および現況において適切と考えられるその他の要因に照らして当社が行った仮

定および分析に基づいています。将来予測に関する記述は業績を保証するものではなく、当社の実際の業績は、将来予測に関する記述において表現、推定または示唆されたものとは大きく異なる可能性があります。

本リリースの発行日現在における事柄を述べたものであるこれらの将来予測に関する記述を過度に信頼すべきではありません。将来予測に関する記述はリスクや不確実性を伴うものであり、その多くは予見困難であり、一般的に不可抗力によるものであるため、実際の結果は将来予測に関する記述で表明、予測、または示唆されているものとは大きく異なる可能性があります。これらのリスクおよび不確実性の代表的な例として、次のものがあげられます。当社または当社の顧客に影響を及ぼす供給の混乱、商品の入手可能性および価格設定、ならびにこれらのコストに関する顧客との交渉において期待されるレベルの回収率を達成できないこと；受託製造会社（OEM）の顧客を含む既存および新規の競合他社による競争上の課題；急速に変化する技術、特に電気自動車に関連する技術的課題、およびそれに対応する当社の技術革新能力；電気自動車に対する需要および電気自動車の売上成長を予測することの難しさ；戦争やその他の地政学的紛争によって引き起こされる世界経済の潜在的な混乱；適切な条件で買収対象を特定し、買収を完了する能力；買収によって期待される利益を適時に実現できない可能性；2023年に旧燃料系システム部門とアフターマーケット部門を非課税分社化して別個の株式公開企業としたことによる意図した利益が得られない可能性；取得事業を迅速かつ効率的に一体化できない可能性；取得事業に関する未確認または推測不能な債務の可能性；自動車およびトラック生産への依存性（いずれも景気に大きく左右され、混乱の影響を受けやすい）；大手OEM顧客への依存性；一部のOEM顧客における将来的なストライキの影響および当該OEM顧客の対処法；金利および外国為替レートの変動；情報システムへの依存性；世界的な経済環境の不確実性；様々な申し立てに関する訴訟を含む既存または将来の法的手続き、または関連する訴訟を含む政府による調査の行方；当社が事業を行っている国における税金や関税を含む法律や規制の将来的な変更；将来起こりうる買収または譲渡による影響；当社が証券取引委員会に提出する報告書（直近のForm 10-Kおよび/またはForm 10-Qの第1A項「リスク要因」）に記載されたその他リスク、など。当社は、期待事項の変更または記述の根拠となる事象、条件、状況、仮定の変更を反映するために、本発表文に含まれる将来予測に関する記述のいずれかを更新する、または更新・改訂内容を公表する義務を負いません。

<報道に関するお問い合わせ>

ボルグワーナー広報事務局 中込、浜辺

TEL: 090-7739-3601 (中込)、080-2032-2924 (浜辺)

EMAIL: borgwarner-pr@kyodo-pr.co.jp